

目標達成計画

作成日: 平成 25年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	<ul style="list-style-type: none"> 主治医や家族と話し合いを行って支援しているが、対応の指針について十分に整備出来ない。 重度化した場合や、看取りに関して、全職員で話し合っているが、夜勤を担当する職員の精神的ストレスの軽減には十分につなげていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 重度化した場合における対応の指針を整備する。 重度化、看取りについて、職員間で勉強会や意見交換を実施し、夜勤者のストレスの軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要事項説明書に指針を整備する。 急性期や看取りの時期に入った入居者がいる時期の報・連・相は普段よりこまめに行う。 急性期や看取りの時期は自動血圧計では測定出来ないことが多いので、職員自身の安心のためにも、アネロイド血圧計での測定法を覚えておく。 	12ヶ月
2	2	<p>地域との付き合いとして、この1年間は毎月1回、喫茶の日を開催してきた。午後のひと時を、地域の方々と過ごしてきて、これまでより一歩進んだ活動ができたと思っているが、今後は、もっと地域の方のニーズを引き出し、それに応えていければと思っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後も交流を継続できる。 地域の方のニーズに合った活動が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会(認知症や介護予防について)を開催する。(保健師さんやリーダーが中心となって) 喫茶の日は継続して開催する。 喫茶の日の中で、地域の方との会話を積極的に行う。 この地域のサロンの現状を聞き、今後、どうつなげられるのか、地域の方と相談していく。 	12ヶ月
3	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方のニーズを把握出来ていない。 話し合いの内容が事業所の内部のことになることが多く、地域の方の意見がなかなか出にく。 職員が参加していないため、どうい話し合いをしているか、どういう人が参加しているか、全職員に周知出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の意見が活発にもらえるような、また、興味が持てるような話し合いとなる。 職員が会議に参加し、グループホームを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策や地域交流をテーマにして、意見をいただく。 認知症について知っていただくために、事例発表や事故報告をすることにより、意見を交わす。 毎回職員が、参加する。 職員全員が議事録を読み、会議内容を把握する。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。